

第 10 回若獅子杯実施要綱

○ 大会モットー

- ・ 選手の健康管理が全てのルールに優先します。
- ・ 主審に全権があり、両チームはそれに従わなければなりません。
- ・ 罵詈雑言ではなく、叱咤激励していきましょう。
- ・ 新しい少年野球のモデルを作っていきましょう。

○ 主催

「若獅子杯実行委員会」

- ・ 実行委員長：高橋（北方東部）
- ・ 審判長：近藤（夏見台アタックス）
- ・ 事務局：山下（夏見台アタックス）

○ 参加資格

- ・ 単独チームで2年生以下（7名以上で参加可）※来年度より連合チーム可とする。
- ・ 参加費：3,000円（開会式において集金します）

○ リーグ戦および決勝トーナメント

- ・ 参加18チームを4ブロックに分割します。
- ・ 各ブロックの勝率上位2チームが決勝トーナメントに進出します。
- ・ 準決勝は可能な限り同一グラウンドで実施したいと考えています。
- ・ 決勝は審判長が主審を務めます。
- ・ 試合結果は、勝利チームが当日中に事務局（山下）まで連絡して下さい。
- ・ 決勝トーナメントに進出した8チームには、来年3月に開催されるWBC（若獅子ベースボールクラシック）への参加資格が与えられます。

○ 表彰

- ・ 優勝・準優勝チームには、旗、賞状、メダルが授与されます。
- ・ 3位（2チーム）には、賞状、メダルが授与されます。

○ 大会日程

予定日	内容
8月28日（日）	抽選会
9月11日（日）	開会式（8時30分～@高瀬A面※受付8時） ※雨天の場合は中止
9月11日（日）～10月下旬	リーグ戦（各ブロックで調整のうえ実施）
11月上旬～	決勝トーナメント
11月末	決勝

○ 開会式担当割

・スケジュール

- ① 開式通告：山下
 - ② 選手入場：前年優勝チーム、前年準優勝チーム、以下抽選番号順
 - ③ 優勝旗・準優勝旗返還：海神スパローズ、西船ウイングス
 - ④ 実行委員長挨拶：高橋（北方東部）
 - ⑤ 審判長挨拶：近藤（夏見台アタックス）
 - ⑥ 選手宣誓：抽選番号 10 番（法典コンドル）
 - ⑦ 閉式通告：山下
 - ⑧ 選手退場：一斉退場
- ・ 当日の会計：夏見台アタックス
 - ・ 石灰・ラインカー・放送器具準備：夏見台アタックス
 - ・ 各チームは、団旗・プラカード持参（プラカード嬢はお母さん※選手の姉妹でも可）

○ 試合形式

1. バッテリー間 13m、塁間 21mとする。
2. 主審のすぐ後ろ（1～3m）にバックネットを張り、パスボールを防ぐ。
3. 試合は3回、時間は75分。
時間優先であるが、後攻が負けている場合は当該回裏の攻撃を続行すること。
4. コールドゲームはなし。
5. 試合球は軟式公認C球（いわゆるトップボール）、各チーム2個提出。
ニューボールでなくとも可。
6. ボークはとらない、監督に注意。投手は9アウトで交代のこと。（サドンデス回も含む。）
7. 投球練習球数は、初回 5球、次回以降3球とする。交代投手時は5球。
8. 振り逃げなし。主審は、「三振」「フォアボール」を打者に伝えてあげる。
9. 打者は必ずヘルメット着用のこと。捕手はヘルメットとプロテクタ着用、レガースは自由。
10. ユニホーム着用の義務は強制しないが、帽子と背番号は着用すること。
11. 必ずスポーツ保険に加入すること。危険なプレーは厳禁。
12. 審判は両チームより2名出し合い、主審は話し合いで決める。
13. 選手登録は不要。ただしメンバー表は試合前に交換、用紙は自由。
14. 選手および審判は試合開始予定時刻の1時間前に集合して試合開始に備えること。
15. 塁コーチは大人でも可。大威嚇的な言動はつつしむこと。
16. 時間優先であるが同点の場合、サドンデス1回（1アウト満塁3番打者から攻撃開始。
ただし、ベンチに下がった選手の復活は認めない）によって勝敗を決する。前記で決しない場合は試合以外の方法で決する【当該チームの協議による任意の手法（抽選など）】。
17. 最終順位は、勝利数の多いチームを上位とする。
同じ場合は相対するチームに勝ったチームを上位とする。
前記で決しない場合は、当該チーム間の総得失点の差が大きい方を上位とする。（サドンデス回での得失点は含めない）
18. 上記以外は公認野球規則を適用する。